SONY

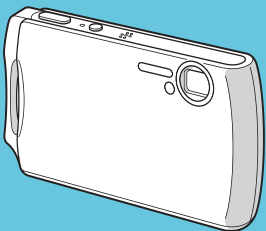
2-050-819-**02** (1)

取扱説明書

サイバーショット基本編

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

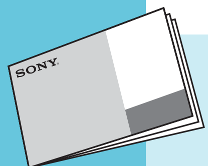
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」、「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Cyber-shot
Digital Still Camera

MEMORY STICK TM

InfoLITHIUM TM T TYPE



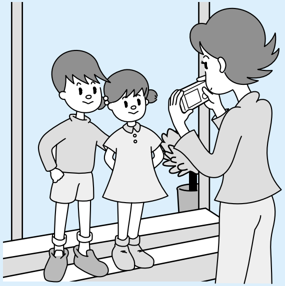
別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」もご覧ください。

DSC-T11

こんなことができます

静止画を撮る

→ 17～32ページ



パソコンに取り込んで見る

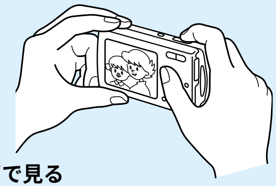
→ 42～60ページ



静止画を見る

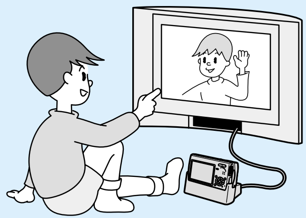
液晶画面で見る

→ 33～34 ページ



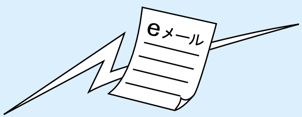
テレビで見る

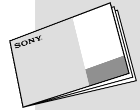
→ 35～36ページ



Eメールに添付して送る

→ 別冊応用編 19ページ





別冊の
「サイバーショット応用編／困ったときは」

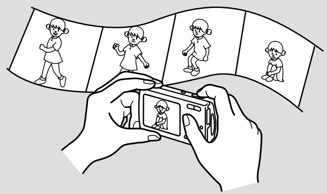
いろいろな静止画の撮影／再生／編集

→ 8～31、45～56ページ



動画を撮る／見る

→ 39～44ページ



困ったときは

→ 57～73ページ

目次

準備する

静止画を撮る

静止画を見る

静止画を削除する

静止画をパソコンに取り込む

索引

別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」について

「サイバーショット応用編」では、静止画の応用的な使いかたや、動画の撮影方法などを説明しています。

また、**「困ったときは」**（57～73ページ）では、本機を操作していて困ったときの代表的な対処方法を説明しています。

「サイバーショット応用編／困ったときは」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊応用編** ⟶ ページ番号」のようにご案内しています。

お使いになる前に

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

画像の互換性について
- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“ Design rule for Camera File system ”に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について
あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！
誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、“ メモリースティック デュオ ”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて
- 液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- レンズを強く押さないでください。レンズの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

カールツァイスレンズ搭載

本機はカールツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作りだすことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツカールツァイスの品質基準に基づき、カールツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

フラッシュの表面の汚れは取り除いてご使用ください！

発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、フラッシュが充分な量を発光できない場合があります。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。

結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください（**別冊応用編** ➡ 83ページ）。

砂やほこりにご注意ください！

砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。

日光および強い光に向けて本機を使用しないでください！

目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因にもなります。

使用する場所について

強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

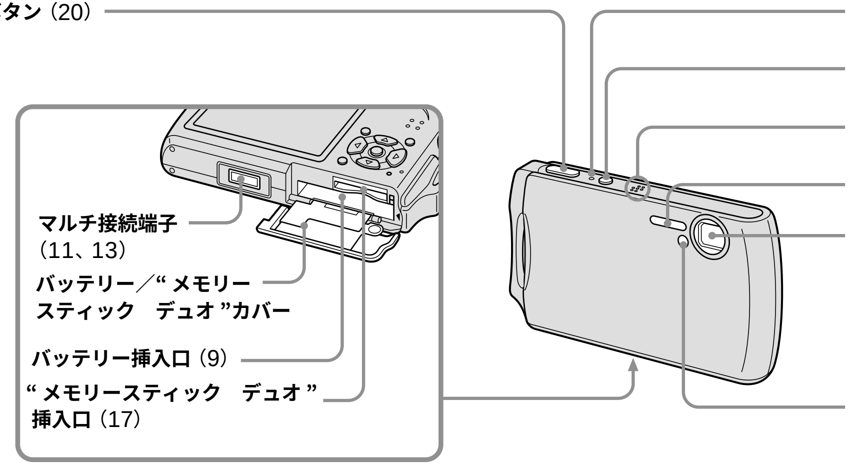
商標について

- "メモリースティック　デュオ"および"MEMORY STICK DUO"はソニー株式会社の商標です。
- "メモリースティック　PRO　デュオ"および"MEMORY STICK PRO DUO"はソニー株式会社の商標です。
- "MagicGate Memory Stick Duo"（"マジックゲート メモリースティック　デュオ"）はソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"（"メモリースティック"）、MEMORY STICK™ および"MagicGate Memory Stick"（"マジックゲート メモリースティック"）はソニー株式会社の商標です。
- "メモリースティック　PRO"および"MEMORY STICK PRO"はソニー株式会社の商標です。
- "マジックゲート"および"MAGICGATE"はソニー株式会社の商標です。
- "InfoLITHIUM（インフォリチウム）"はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeはApple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

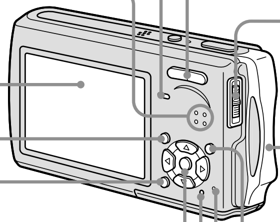
各部のなまえ

カッコ内の数字はページ数です。

カメラ



別冊の**「サイバーショット応用編／困ったときは」**に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊応用編** ➡ ページ番号」のようにご案内しています。



⚡/CHG（チャージ）**ランプ（オレンジ）**（10、26）

スピーカー

液晶画面

MENU（メニュー）**ボタン（別冊応用編 ➡** 4、75）

▭（画面表示／LCD**バックライト オン／オフ）ボタン**（23）

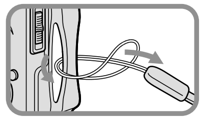
コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●（14）
メニューオフ時：⚡/⏲/▣/🌷（26/26/22/25）

RESET（リセット）**ボタン（別冊応用編 ➡** 57）

撮影時：ズーム（W/T）**ボタン**（23）
再生時：⊖/⊕（再生ズーム）ボタン
（別冊応用編 ➡ 23）／
▦（インデックス）ボタン（34）

モードスイッチ（15、**別冊応用編 ➡** 75）
🎞: **動画撮影**
📷: **静止画撮影**
▶: **画像再生／編集**

リストストラップ取付部



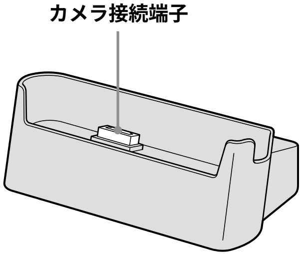
取り付けかた

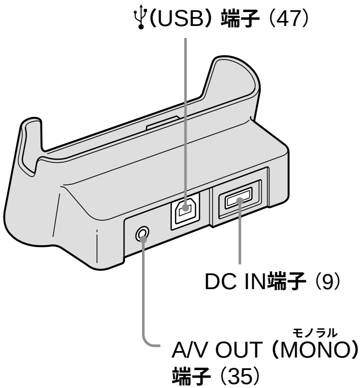
▦/🗑（画像サイズ／削除）ボタン（18、37）

アクセスランプ（17）

USBクレードル

バッテリーの充電、テレビやパソコンにつなぐときなどに使用します。

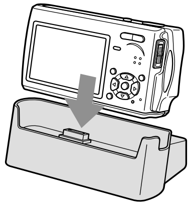




USBクレードルに本機を取り付ける／取りはずす

取り付ける

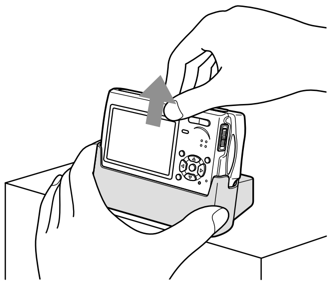
図の向きに本機を取り付けてください。



- 本機を奥まで確実に入れてください。

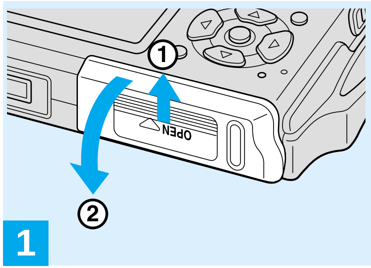
取りはずす

図のように本機とUSBクレードル（付属）を持って取りはずしてください。



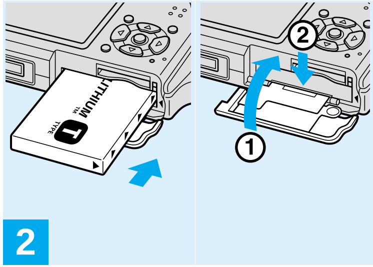
- 本機をUSBクレードルに取り付ける／取りはずすときは必ず本機の電源を切ってください。
- **USB接続中は、本機をUSBクレードルから取りはずさないでください。画像データが壊れることがあります。**
  USB接続を終了するときは、Windowsをご使用の場合は54ページの❗ を、Macintoshをご使用の場合は59ページの❶をご覧ください。

バッテリーを充電する



➡ **バッテリー／“メモリースティック　デュオ”カバーを開ける**

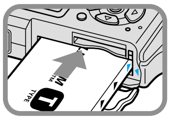
矢印の方向にスライドさせると手前に開きます。



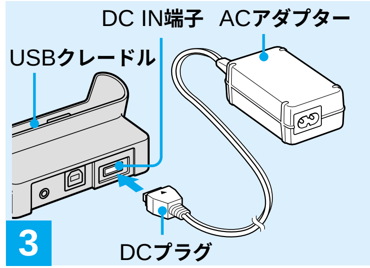
➡ **バッテリーを入れて、バッテリー／“メモリースティック　デュオ”カバーを閉める**

バッテリーが奥まで確実に入ったことを確かめてからカバーを閉めてください。

バッテリー挿入口について



バッテリー挿入口の▲マークの頂点とバッテリー側面の▲マークの頂点を合わせるように挿入してください。



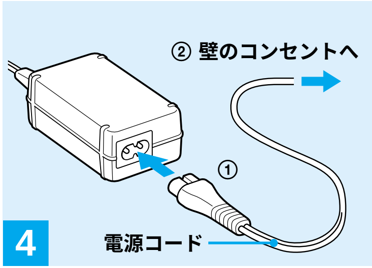
➡ **ACアダプター（付属）のケーブルをUSBクレードル（付属）のDC IN端子につなぐ**

DCプラグの▲マークの付いている面を上側にしてつなぎます。

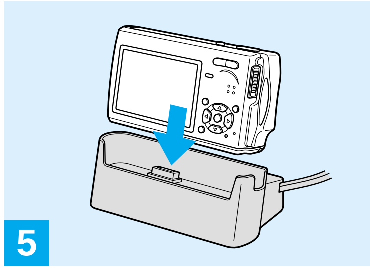
- **バッテリーを充電するときは、必ず本機の電源を切ってください**（14ページ）。
- 本機の電源には“インフォリチウム”バッテリー（Tタイプ）NP-FT1（付属）を使用します。Tタイプ以外のバッテリーはお使いになれません（**別冊応用編** ➞ 86ページ）。

- 入れるときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。

- ACアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

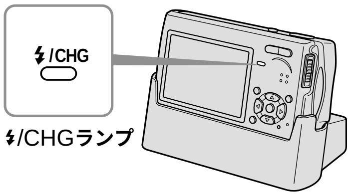


➡ 電源コードをACアダプターと壁のコンセントにつなぐ



➡ 本機をUSBクレードルに取り付ける

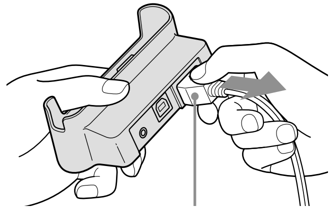
図の向きに本機を取り付けてください。本機を奥まで確実に入れてください。
充電が始まり、ϟ/CHGランプが点灯します。



充電が終わるとϟ/CHGランプが消えます。充電が完了したら、本機をUSBクレードルから取りはずしてください。

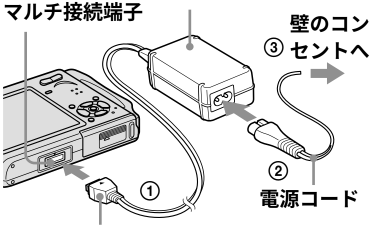
ACアダプターをUSBクレードルから抜くとき

図のようにDCプラグとUSBクレードルを持って取りはずしてください。



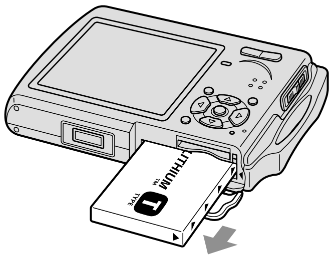
ACアダプターのみで充電するには

旅先などでUSBクレードルがなくてもバッテリーを充電することができます。DCプラグの▲マークの付いている面を上側にして、本機とACアダプターを図のようにつないで充電してください。



- **バッテリーを充電するときは、必ず本機の電源を切ってください**（14ページ）。
- カメラを置くときは、液晶画面が上になるようにしてください。
- バッテリーの充電が終わったら、ACアダプターを本機のマルチ接続端子と壁のコンセントから取りはずしてください。

バッテリーを取り出すには

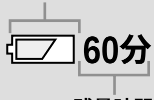


バッテリー／" メモリースティック デュオ "カバーを開けて、カメラを下向きに傾けてバッテリーを取り出してください。

- 取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。

バッテリー残量時間表示

撮影／再生可能な残り時間とバッテリー残量が液晶画面左上に表示されます。



- 使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

充電時間

使い切ったバッテリーを温度25°Cの環境でACアダプターで充電したときの時間です。

バッテリー	充電時間
NP-FT1（付属）	約150分

- 使用状況や環境によって、充電時間が長くなる場合があります。

バッテリーの使用時間と撮影／再生可能枚数

次の表は撮影モードを通常撮影にし、充電した付属のバッテリーで温度25°Cの環境で使用した場合の目安です。また、撮影／再生枚数は“ メモリースティック　デュオ ”を交換しながら撮影／再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画を撮影するとき

標準撮影[1)]

画像サイズ	NP-FT1 **（付属）**		
	LCD**バックライト**	**撮影枚数**	**使用時間**
5M	オン	約170枚	約85分
	オフ	約200枚	約100分
VGA	オン	約170枚	約85分
	オフ	約200枚	約100分

1) 以下の設定で撮影
－［ ］（画質）を［ファイン］にする
－30秒ごとに1回撮影
－1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
－2回に1度、フラッシュを発光する
－10回に1度、電源を入／切する
－［AFモード］を［シングル］にする

静止画を再生[2)] するとき

画像サイズ	NP-FT1 **（付属）**	
	再生枚数	**使用時間**
5M	約2600枚	約130分
VGA	約2800枚	約140分

2) 約3秒ごとにシングル画面で順番に再生

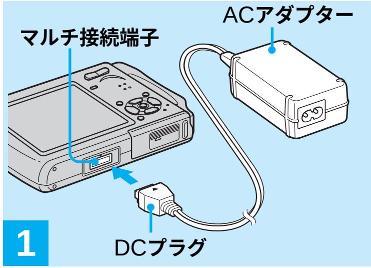
動画を撮影[3)] するとき

	NP-FT1 **（付属）**	
	LCD**バックライト**	**使用時間**
連続撮影時	オン	約80分
	オフ	約100分

3) 画像サイズが［160］の場合の連続撮影

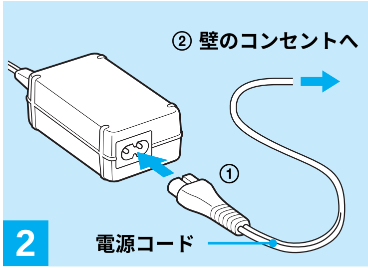
- 次のような場合は使用時間と撮影／再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  – 周囲が低温のとき
  – フラッシュ使用時
  – 電源の入／切を繰り返したとき
  – ズームを多用したとき
  – ［LCDバックライト］が［明］になっているとき
  – 使用回数を重ねたり、時間が経過してバッテリーの容量が低下したとき（**別冊応用編** ➡ 87ページ）
  – ［AFモード］が［モニタリング］または［コンティニュアス］のとき

ACアダプターで使う



➡ ACアダプター（付属）のケーブルを本機のマルチ接続端子につなぐ

カメラを置くときは、液晶画面が上になるようにしてください。
DCプラグの▲マークの付いている面を上側にしてつなぎます。



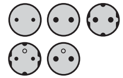
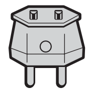
➡ 電源コードをACアダプターと壁のコンセントにつなぐ

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

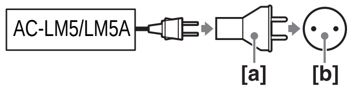
- 使い終わったら、ACアダプターを本機のマルチ接続端子と壁のコンセントから取りはずしてください。

海外で使うときは

海外のコンセントの種類

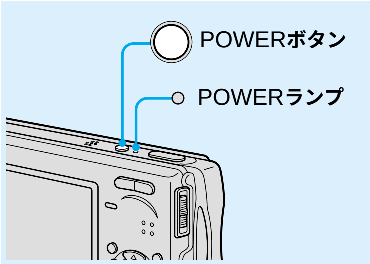
壁のコンセントの形状例	変換プラグアダプター
 主に北米など	不要です。
 主にヨーロッパなど	

- ACアダプター（付属）は、全世界の電源（AC 100 V～240 V・50/60 Hz）でお使いいただけます。
- 下図のように、ACアダプターを差し込む変換プラグアダプター**[a]**が必要になる場合があります。



- 変換プラグアダプター**[a]**／電源コンセント**[b]**の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

電源を入れる／切る



➡ **POWERボタンを押して、電源を入れる**

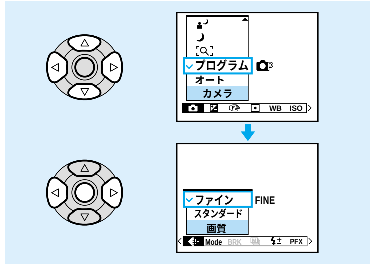
POWERランプが緑色に点灯し、電源が入ります。初めて電源を入れたときは、時計設定画面が表示されます（15ページ）。

電源を切る
POWERボタンを再び押すと、POWERランプが消え、電源が切れます。

オートパワーオフ機能
バッテリーを使って、撮影、再生またはセットアップを行っているとき、本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。
ただし、バッテリー使用中でも、下記の場合はオートパワーオフ機能は働きません。

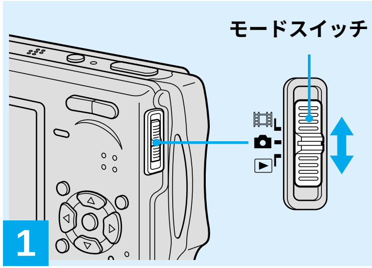
- 動画再生時
- スライドショー時
- 本機をＵＳＢクレードルに取り付けた状態で ψ(ＵＳＢ）端子またはＡ/Ｖ ＯＵＴ（ＭＯＮＯ）端子にプラグが接続されているとき

コントロールボタンについて

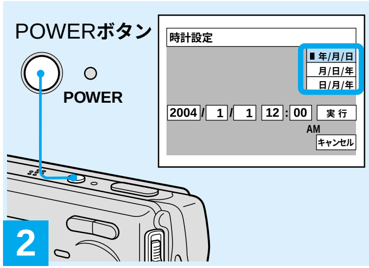


本機の設定を変えるときは、液晶画面にメニューやセットアップ画面（**別冊応用編** ➡ 4ページ）を表示させ、コントロールボタンを使って操作します。
各項目を設定するときは、コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、項目や設定を選び、最後に中央の●、または▲/▼/◀/▶を押して決定します。

日付／時刻を合わせる

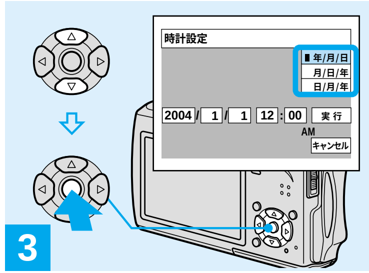


➡ **モードスイッチを「📷」にする**



➡ **POWERボタンを押して、電源を入れる**

POWERランプが緑色に点灯します。
時計設定画面が表示されます。



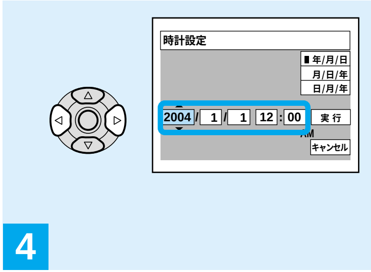
➡ **コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す**

表示は、［年／月／日］、［月／日／年］、［日／月／年］の中から選びます。

- モードスイッチを「🎞」、「▶」の位置にしても操作できます。
- 1度設定した日付、時刻を合わせ直すときは、セットアップ画面の[🧰2]（設定2）の［時計設定］を選んでから（**別冊応用編** ➡ 5、81ページ）、手順**3**を行ってください。

- 時計の設定を記憶しておくための充電式ボタン電池（**別冊応用編** ➡ 83ページ）の残量が少なくなると、自動的に時計設定画面が表示されます。このときは手順**3**以降を行って日付、時刻を設定し直してください。

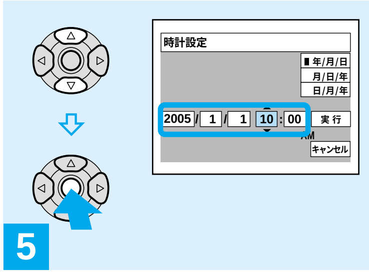
4



➡ コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。

5

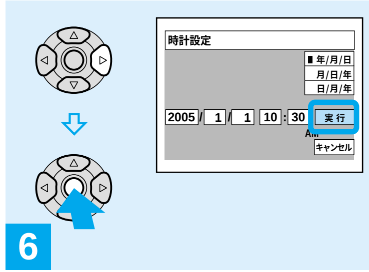


➡ コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す

数値が確定され、次の項目に移ります。手順4と5を繰り返して、すべての項目を設定してください。

- 手順3で［日／月／年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。

6

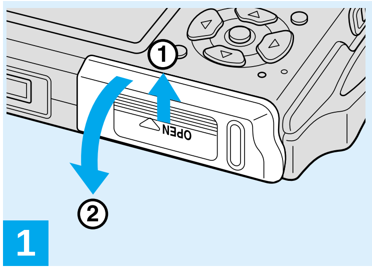


➡ コントロールボタンの▶で［実行］を選び、中央の●を押す

日付・時刻が設定され、時計が動き始めます。

- 中止するときは、コントロールボタンで［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

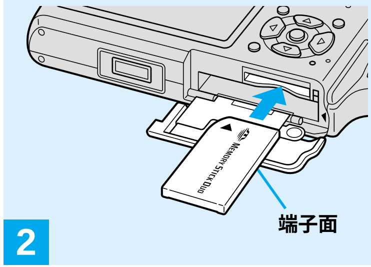
“メモリースティック　デュオ”を入れる／取り出す



➡ バッテリー／“メモリースティック　デュオ”カバーを開ける

矢印の方向にスライドさせると手前に開きます。

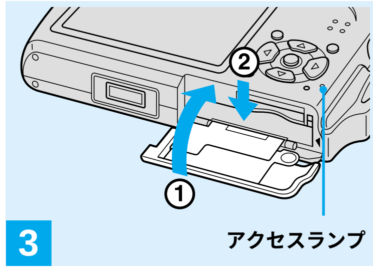
- **本機をお使いになるときは、メモリースティック　デュオ　アダプター（付属）は必要ありません。**
- バッテリー／“メモリースティック　デュオ”カバーを開閉するときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。
- “メモリースティック　デュオ”については、**別冊応用編** ➡ 84ページをご覧ください。



➡“メモリースティック　デュオ”を入れる

“メモリースティック　デュオ”を図の向きで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

- “メモリースティック　デュオ”を入れるときは、挿入方向をご確認のうえ奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まないと正常な記録、再生ができないことがあります。また、本機および“メモリースティック　デュオ”の破損の原因になることもあります。



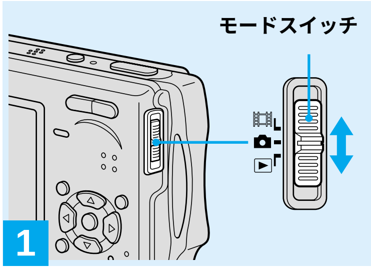
➡ バッテリー／“メモリースティック　デュオ”カバーを閉める

“メモリースティック　デュオ”を取り出すには

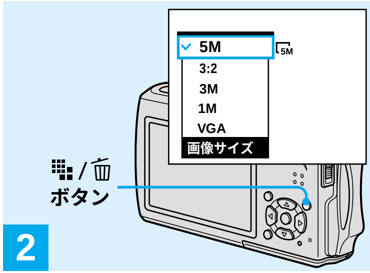
バッテリー／“メモリースティック　デュオ”カバーを開け、“メモリースティック　デュオ”を1回押して取り出してください。

- **アクセスランプが点灯しているときは、画像の記録中、読み出し中です。このとき、絶対にバッテリー／“メモリースティック　デュオ”カバーを開けたり、電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。**

静止画の画像サイズを決める

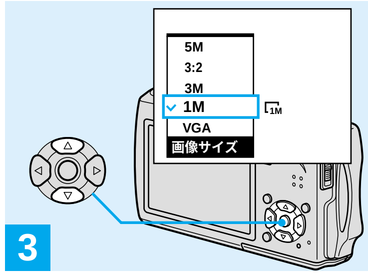


➡ **モードスイッチを「」にして、電源を入れる**



➡ **/(画像サイズ)ボタンを押す**

画像サイズが表示されます。



➡ **コントロールボタンの▲/▼で希望の画像サイズを選ぶ**

画像サイズが確定します。
設定が終わったら、/(画像サイズ)ボタンを押してください。液晶画面から画像サイズの表示が消えます。

- 画像サイズについては、19ページをご覧ください。

- ここで選んだ画像サイズは、電源を切ったあとも保持されます。

画像サイズについて

撮影目的に合わせて、画像のサイズ（画素数）と画質（圧縮率）を選ぶことができます。画像サイズを大きく、画質を高くするほど、画像はきれいになりますが、データ容量が大きくなり、" メモリースティック　デュオ "に記録できる枚数は少なくなります。目的に合った画像サイズと画質をお選びください。

画像サイズ		用途の目安
5M[1]（2592×1944）	大きい	• 大切な画像を保存したり、A4サイズプリントや、A5サイズ高精細プリントする場合
3：2[2]（2592×1728）	↑	
3M（2048×1536）	↕	
1M（1280×960）	↓	• 写真のL判でプリントする場合
VGA（640×480）	小さい	• より多くの画像を撮影する場合 • Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合

1) お買い上げ時は［5M］に設定されています。本機で最高の画質が撮れるサイズです。

2) 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3：2の横縦比で撮影します。

" メモリースティック　デュオ "1枚に記録できる枚数[3]

枚数はファイン（スタンダード）[4]の順で記載されています。

（単位：枚）

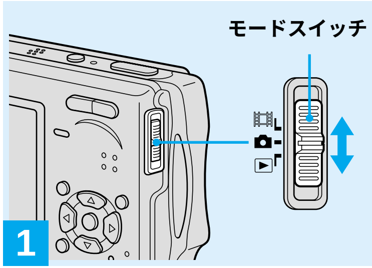
画像サイズ ＼ 容量	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX-M256	MSX-M512
5M	6 (11)	12 (23)	25 (48)	51 (96)	92 (174)	188 (354)
3:2	6 (11)	12 (23)	25 (48)	51 (96)	92 (174)	188 (354)
3M	10 (18)	20 (37)	41 (74)	82 (149)	148 (264)	302 (537)
1M	24 (46)	50 (93)	101 (187)	202 (376)	357 (649)	726 (1320)
VGA	97 (243)	196 (491)	394 (985)	790 (1975)	1428 (3571)	2904 (7261)

3) ［Mode］（撮影モード）が［通常撮影］の場合
その他のモードの記録枚数は**別冊応用編** ➡ 74ページをご覧ください。

4) 画質（圧縮率）については**別冊応用編** ➡ 5ページをご覧ください。

- 当社従来モデルで撮影された画像を再生したとき、実際の画像サイズと異なる表示となる場合があります。
- 本機の液晶画面で見るときはどの画像サイズでも同じ大きさに見えます。
- 記録枚数は、撮影状況によって数値と異なる場合があります。
- 撮影残枚数が9999より多いとき、「>9999」と表示されます。
- 撮影した画像のサイズをあとで変えることもできます（リサイズ機能、**別冊応用編** ➡ 29ページ）。

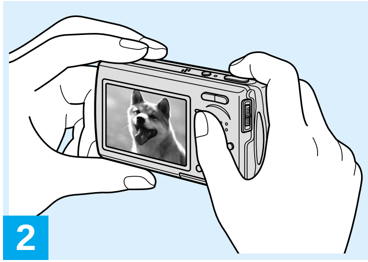
簡単に撮る―オート撮影



➡ モードスイッチを「📷」にして、電源を入れる

液晶画面に画像の記録フォルダの名前が約5秒間表示されます。

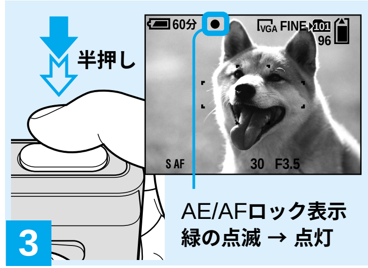
- 本機では“ メモリースティック デュオ ”に記録するフォルダを新しく作成したり、選択することができます（**別冊応用編** ➡ 6ページ）。



➡ 両手でカメラを構え、被写体をフレーム中央部におさめる

レンズやフラッシュ発光部、マイク（6ページ）に指がかからないようにしてください。

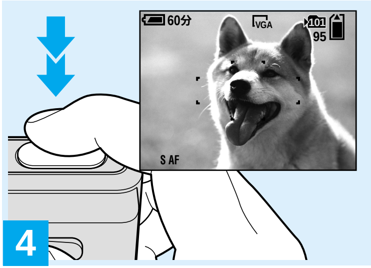
- ピント合わせに必要な被写体までの距離は、約50㎝以上です。これより近くの被写体を撮影するときは近接（マクロ）撮影してください（25ページ）。



➡ シャッターボタンを半押しする

「ピピッ」と音がします。液晶画面内のAE/AFロック表示が点滅から点灯に変わると、撮影可能です。（被写体によっては画面が一瞬止まる場合があります。）

- シャッターボタンを離せば、いつでも撮影を中止できます。
- 「ピピッ」と音がしないときはこのまま撮影することもできますが、ピント合わせは正しく設定されていません。（コンティニュアスAF時を除く、**別冊応用編** ➡ 9ページ）。
- 液晶画面内に出る枠はピント合わせを行う範囲を表します（AF測距枠、**別冊応用編** ➡ 8ページ）。



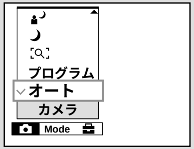
➡ 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込む

「カシャッ」と音がして、撮影が完了し静止画が“メモリースティック　デュオ”に記録されます。「記録中」の表示が消えると、次の撮影ができます。

- バッテリーを使って撮影を行っているとき、本機の電源を入れたまま一定時間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます（14ページ）。

モードスイッチの「 」について

モードスイッチを「 」にしたとき、メニューの［ ］（カメラ）の設定により、使える機能が下記のように変わります。



静止画オート撮影［オート］
撮影に必要なピント合わせや露出、ホワイトバランスの調整を自動でおこなうため、簡単に撮影することができます。また、画質は［ファイン］（**別冊応用編** ➡ 5ページ）、AF測距枠は［マルチAF］、測光モードは［マルチ］になります（**別冊応用編** ➡ 8、14ページ）。
メニューに表示されるのは、［ ］（カメラ）、［Mode］（撮影モード）と［ ］（セットアップ）のみになります。

静止画プログラム撮影［プログラム］
静止画オート撮影と同様に撮影に必要な調節を自動で行いますが、ピント合わせ等の調節を意図的に変えることもできます。また、メニューで撮影機能を設定できます（**別冊応用編** ➡ 4、75ページ）。

拡大鏡モード［ ］（30ページ）

夜景モード［ ］（30ページ）

夜景＆人物モード［ ］（30ページ）

風景モード［ ］（31ページ）

スノーモード［ ］（31ページ）

ビーチモード［ ］（31ページ）

高速シャッターモード［ ］（31ページ）

打ち上げ花火モード［ ］（31ページ）

撮影方法を切り換えるには

1 モードスイッチを「 」にする。

2 MENUボタンを押す。

3 コントロールボタンの◀で［ ］（カメラ）を選ぶ。

4 コントロールボタンの▲/▼で希望の撮影モードを選ぶ。

静止画を撮る

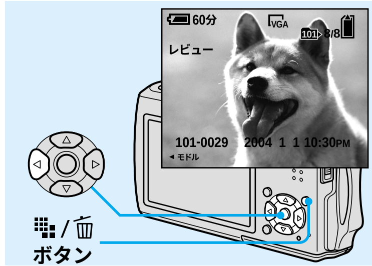
ピント合わせについて

ピントを合わせにくい被写体を撮影しようとしたときは、点滅していたAE/AFロック表示が遅い点滅に変わります。
自動ピント合わせ（AF＝オートフォーカス）の場合は、下記の条件でピントが合いにくいことがあります。構図を変えるなどしてもう1度ピントを合わせてみてください。

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

本機には、被写体の位置やその大きさによってピント合わせの位置を設定できる「AF測距枠」と、AFのレスポンスやバッテリー消費量に合わせてピント合わせを開始／終了するタイミングを設定できる「AFモード」の2つの機能があります。詳しくは**別冊応用編** ➡ 8ページをご覧ください。

最後に撮影した画像を確かめる—クイックレビュー



➡ コントロールボタンの◀（⧉）を押す

通常の撮影モードに戻るには、シャッターボタンを軽く押すか、もう1度コントロールボタンの◀（⧉）を押します。

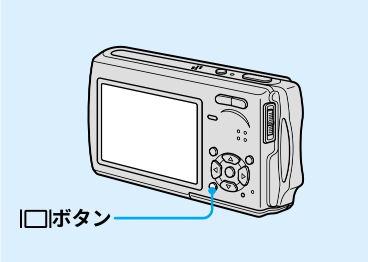
表示された画像を削除する

1 ▦/🗑（削除）ボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲で［削除］を選んで、中央の●を押す。
画像が削除されます。

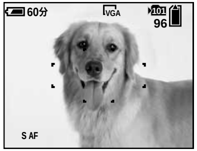
- 表示直後は、画像処理のために粗い画像が出ることがあります。

画面上の表示を切り換える



ボタンを押すたびに、表示が次の順で切り換わります。

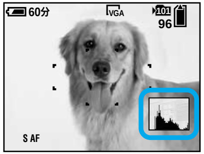
画面表示オン



↓

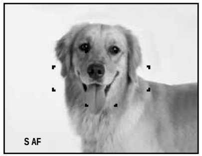
ヒストグラム表示オン

（再生時には画像情報も表示されます）



↓

画面表示オフ

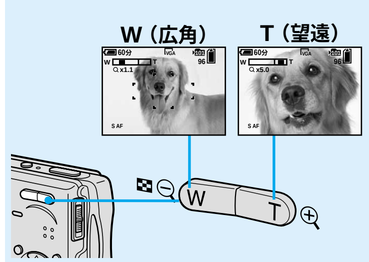


↓

バックライトオフ

- 表示項目について詳しくは、**別冊応用編** ➡ 90ページをご覧ください。
- ヒストグラムについて詳しくは**別冊応用編** ➡ 12ページをご覧ください。
- バックライトオフでご使用になるとバッテリーを長持ちさせることができます。
- 動画時は、画面表示オン→画面表示オフ→バックライトオフになります。
- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとも保持されます。

ズームで撮る



➡ ズームボタンで希望の大きさにし、撮影する

ピントが合うための最短距離

W／T側ともレンズ先端から約50 cm

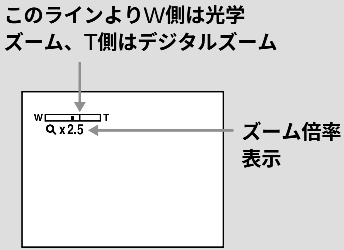
- 動画撮影中はズーム倍率を変更することはできません。

ズームについて

本機には、光学ズームおよびデジタル処理により画像を拡大するデジタルズームの2種類が搭載されています。デジタルズームでは「スマートズーム」または「プレシジョンデジタルズーム」の選択が可能です。デジタルズームを設定しているときは、ズーム倍率が3倍を超えると、光学ズームからデジタルズームへ切り換わります。光学ズームのみを使用したい場合は、セットアップ画面で［デジタルズーム］を［切］にしてください（**別冊応用編** → 79ページ）。光学ズームでは最大倍率が3倍となり、デジタルズーム領域は表示されません。

拡大方法や拡大倍率は画像サイズやズームの種類によって異なるので、撮影目的に合わせて使い分けてください。

デジタルズームに設定してズームボタンを押すと液晶画面に右記のようなズーム倍率が表示されます。



- ズームの種類によってアイコン表示が以下のように異なります。
  光学ズーム：×
  スマートズーム：S×
  プレシジョンデジタルズーム：P×
- デジタルズーム時はAF測距枠は表示されません。、、が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。

スマートズーム

画質をほとんど劣化させずに拡大します。このためスマートズームは光学ズームと同じような感覚で使うことができます。スマートズームを設定するには、セットアップ画面で［デジタルズーム］を［スマート］にしてください（**別冊応用編** → 79ページ）。お買い上げ時はスマートズームに設定されています。

スマートズームの最大倍率は、選択している画像サイズによって下記のようになります。

画像サイズ	最大倍率
3M	3.8倍
1M	6.1倍
VGA	12倍

スマートズームは、画像サイズが［5M］または［3:2］に設定されているときは使用できません。お買い上げ時は、［5M］に設定されています。

- スマートズーム時に液晶画面を見ると画像が粗く見える場合がありますが、撮影される画像には影響ありません。
- マルチ連写中はスマートズームができません。

プレシジョンデジタルズーム

すべての画像サイズにおいて最大6倍まで拡大します。この機能では画像の一部を切り出し拡大するため、画像は劣化します。プレシジョンデジタルズームを設定するには、セットアップ画面で［デジタルズーム］を［プレシジョン］にしてください（**別冊応用編** → 79ページ）。

近接撮影ーマクロ撮影

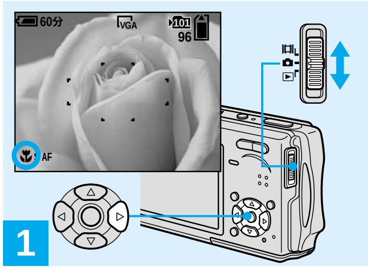


花や昆虫などに接近して撮りたいときは、近接（マクロ）撮影をします。ズームをW側いっぱいにすると8 cmまで被写体に近づいて撮影ができますが、ピント調節できる距離はズームの位置によって変わります。撮影時は、W側いっぱいにすることをおすすめします。

ズームがW側いっぱいのとき：
レンズ先端から約8 cm

ズームがT側いっぱいのとき：
レンズ先端から約25 cm

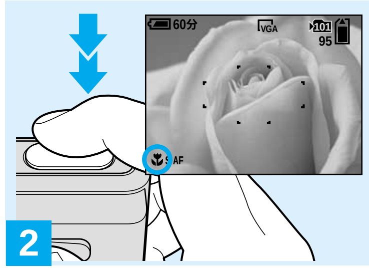
- スポットAFのご使用をおすすめします（**別冊応用編** ➡ 8ページ）。
- 近接（マクロ）撮影よりさらに近距離で撮影したい場合は、[ ]（拡大鏡モード）をご使用ください（30ページ）。



➡ モードスイッチを「 」にして、コントロールボタンの▶（ ）を押す

液晶画面に （マクロ）が表示されます。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードスイッチを「 」の位置にしても操作できます。
- メニューの［ ］（カメラ）が［ ］（拡大鏡モード）、［ ］（夜景モード）、［ ］（風景モード）、［ ］（打ち上げ花火モード）のとき近接（マクロ）撮影機能は使えません。

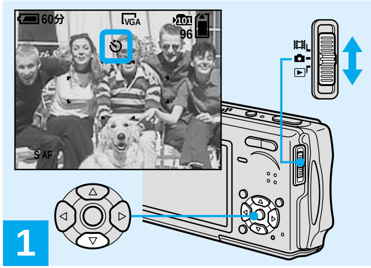


➡ 被写体をフレーム中央部におさめ、シャッターボタンを半押しにして、さらに深く押し込む

通常撮影に戻すには
もう1度コントロールボタンの▶（ ）を押してください。液晶画面から が消えます。

- 近接（マクロ）撮影時は、ピントが合って見える範囲が非常に狭くなるため、被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 近接（マクロ）撮影時は、近い被写体に精度よくピントを合わせるため、ピント合わせが遅くなります。

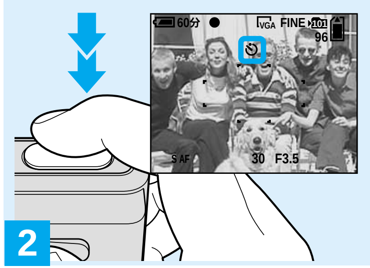
セルフタイマーで撮る



➡ モードスイッチを「📷」にして、コントロールボタンの▼（⏲）を押す

液晶画面に⏲（セルフタイマー）が表示されます。

- セルフタイマー使用時は本機を安定した場所に置いて撮影してください。不安定な場所に置いて撮影すると、本機が倒れ、破損や故障の原因となります。
- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。



➡ 被写体をフレーム中央部におさめ、シャッターボタンを半押しにして、さらに深く押し込む

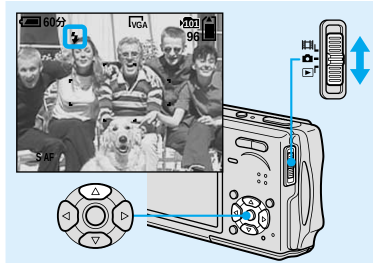
セルフタイマーランプ（6ページ）が点滅し、「ピッピッピ」とビープ音が鳴ります。約10秒後に撮影されます。

セルフタイマーを途中で止めるには

もう1度コントロールボタンの▼（⏲）を押してください。液晶画面から⏲が消えます。

- カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピントや明るさが正しく設定されないことがあります。

フラッシュモードを選ぶ



➡ モードスイッチを「📷」にして、コントロールボタンの▲（⚡）を繰り返し押し、フラッシュモードを選ぶ

フラッシュモードは下記の通りです。

表示なし（オート）：撮影状況により光量が足りないと判断した場合自動的に発光します。お買い上げ時はオートに設定されています。

⚡（強制発光）：周囲の明るさに関係なく発光します。

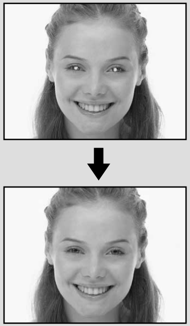
SL（スローシンクロ）：周囲の明るさに関係なく発光します。ただし暗い場所ではシャッタースピードが遅くなるので、フラッシュが届かない背景も明るく写すことができます。

（発光禁止）：周囲の明るさに関係なく、発光しません。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- フラッシュ推奨撮影距離はW側で約0.3～1.5 m、T側で約0.5～1.5 mです（［ISO］が［オート］のとき）。
- フラッシュの発光量はメニューの［±］（フラッシュレベル）で変えることができます（**別冊応用編** ➡ 17ページ）。(メニューの［］（カメラ）が［オート］のときは操作できません。）
- SL（スローシンクロ）または（発光禁止）のとき、暗い場所ではシャッタースピードが遅くなるので、手ぶれにご注意ください。
- フラッシュを充電している間は、/CHGランプが点滅します。充電が完了すると消灯します。
- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとも保持されます。

目が赤く写らないようにするには

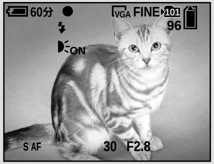
撮影前にフラッシュが予備発光し、目が赤く写るのを軽減します。
セットアップ画面の［］（カメラ）の［赤目軽減］を［入］にしてください（**別冊応用編** ➡ 79ページ）。
液晶画面にが表示されます。



- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、被写体が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。

AFイルミネーターを使って撮影する

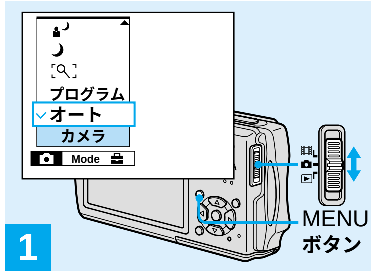
暗い場所でフォーカスを合わせるための補助光です。
撮影時にON が表示され、シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間だけ自動的に赤く発光します。



この機能を使わないときは、セットアップ画面の［ ］（カメラ）の［AFイルミネーター］を［切］にしてください（**別冊応用編** ➡ 79ページ）。

- AFイルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離は2.2 mまで）やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- フォーカスプリセット（**別冊応用編** ➡ 11ページ）のとき、AFイルミネーターは使えません。
- AF測距枠は表示されません。 、 、 が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- メニューの［ ］（カメラ）で［オート］、［プログラム］、［ ］（拡大鏡モード）、［ ］（夜景&人物モード）、［ ］（スノーモード）、［ ］（ビーチモード）のいずれかを選んだときのみAFイルミネーターが発光します。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

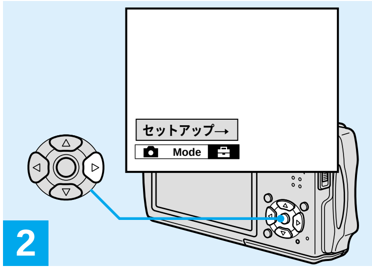
日付や時刻を入れて撮る



1 ➡ **モードスイッチを「 」にし、MENUボタンを押す**

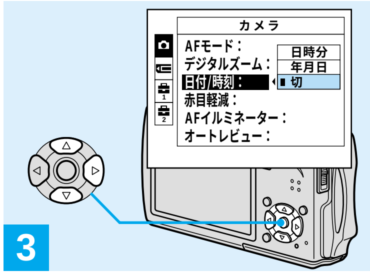
メニューが表示されます。

- 1度挿入した日付や時刻はあとで消去できませんのでご注意ください。
- 撮影時は実際の日付や時刻は表示されず、液晶画面にDATEが表示されます。実際の日付や時刻は、再生時に画像右下に赤色で表示されます。
- マルチ連写では、日付・時刻は挿入されません。
- モードスイッチを「 」、「▶」の位置にしても操作できます。

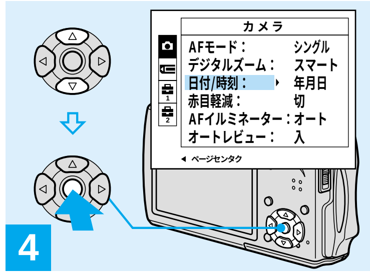


➡ **コントロールボタンの▶でメニューの[セットアップ]の位置に進み、もう1度▶を押す**

セットアップ画面が表示されます。



➡ **コントロールボタンの▲で［[カメラ]］（カメラ）を選び、▶を押す。▲/▼で［日付／時刻］を選び、▶を押す**



➡ **コントロールボタンの▲/▼で挿入するデータの種類を選び、中央の●を押す**

日時分：画像に撮影日時分を入れる
年月日：画像に撮影年月日を入れる
切：画像に日付・時刻は記録されない

設定が終わったら、MENUボタンを押してセットアップ画面を消し、撮影してください。

- ［年月日］を選んだ場合、「日付／時刻を合わせる」（15ページ）で選んだ表示順の年月日が挿入されます。
- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとも保持されます。

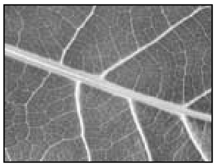
場面に合わせて撮る―シーンセレクション

撮影状況に応じて、8種類の撮影モード（拡大鏡、夜景、夜景＆人物、風景、スノー、ビーチ、高速シャッター、打ち上げ花火）の選択が可能です。撮影シーンに合わせて本機が自動的に最適な設定を決定するので、難しい場面でも簡単にきれいな写真を撮ることができます。

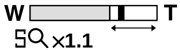
拡大鏡モード

被写体は液晶画面上に最大3.3倍に拡大されて表示されます。このため通常では肉眼で確認しづらい細部の様子を見ることができます。

被写体までの距離	拡大表示倍率
1 cm	3.3倍
2 cm	2.1倍
5 cm	1.0倍
10 cm	0.5倍
20 cm	0.3倍



- 近接（マクロ）撮影機能は使えません。
- ブラケットまたは連写／マルチ連写撮影はできません。
- フラッシュは（強制発光）または（発光禁止）になります。
- ピント合わせに必要な被写体までの距離は1 cmから20 cmです。
- 光学ズームはW側に固定され使えません。
- ズームボタンを押すと、デジタルズームで拡大して撮影できます。



夜景モード

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影することができます。シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれにご注意ください。



- 近接（マクロ）撮影機能は使えません。
- ブラケットまたは連写／マルチ連写撮影はできません。
- フラッシュは使えません。
- 撮影の前に本機を安定した場所に置いて本機を固定してください。

夜景＆人物モード

夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使います。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影することができます。シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれにご注意ください。



- ブラケットまたは連写／マルチ連写撮影はできません。
- フラッシュはSL（スローシンクロ）になります。

風景モード

遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。



- 近接（マクロ）撮影機能は使えません。
- フラッシュは（強制発光）または（発光禁止）になります。

スノーモード

雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにします。



- フラッシュは（強制発光）または（発光禁止）になります。

ビーチモード

海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録します。



- フラッシュは（強制発光）または（発光禁止）になります。

高速シャッターモード

屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影するときに使います。



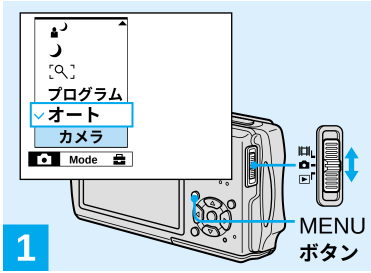
- シャッタースピードが速くなるので、暗い場所で撮影すると画像が暗くなります。
- フラッシュは（強制発光）または（発光禁止）になります。

打ち上げ花火モード

無限遠にピントが設定され、打ち上げ花火を綺麗に撮影することができます。シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれにご注意ください。

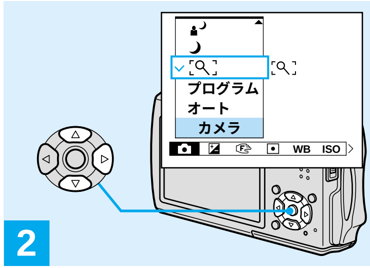


- 近接（マクロ）撮影機能は使えません。
- フラッシュは使えません。
- EV補正値を設定してシャッタースピードを変えることができます（**別冊応用編** → 12ページ）。
- ホワイトバランスは設定できません。
- ブラケットまたは連写／マルチ連写撮影はできません。
- 撮影の前に本機を安定した場所に置いて本機を固定してください。



➡ **モードスイッチを「」にし、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。



➡ **コントロールボタンの◀で［］（カメラ）を選び、▲/▼で希望のモードを選ぶ**

通常撮影に戻すには

コントロールボタンの▲/▼で［オート］または［プログラム］を選んでください。

- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとも保持されます。

NRスローシャッター

撮影した画像からノイズを除去し、きれいな画像を得る機能です。
（夜景モード）、（夜景＆人物モード）、（打ち上げ花火モード）でシャッタースピードが1/6秒またはそれより遅い設定になると、シャッタースピード表示の前に「NR」が表示され、自動的にNRスローシャッターモードに入ります。



シャッターボタンを深く押し込む。

↓



このとき画面は黒くなります。

↓



「処理中」の表示が消えると、画像が記録されます。

- NRスローシャッター機能が働いているときは手ぶれにご注意ください。

本機の液晶画面で見る

シングル（1枚表示）画面



インデックス
（9枚表示）画面



インデックス
（16枚表示）画面



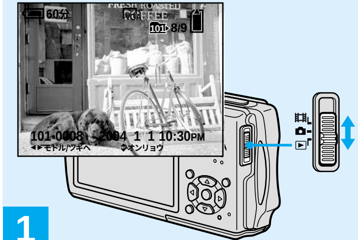
撮影した画像を本機の液晶画面ですぐに見ることができます。表示方法は下記の3種類から選ぶことができます。

シングル（1枚表示）画面
1枚の画像を画面いっぱいで見ることができます。

インデックス（9枚／16枚表示）画面
9枚または16枚の画像を同時に見ることができます。

- 動画の再生について詳しくは、**別冊応用編** ➡ 40ページをご覧ください。
- 表示項目について詳しくは、**別冊応用編** ➡ 92ページをご覧ください。

シングル画面で見る

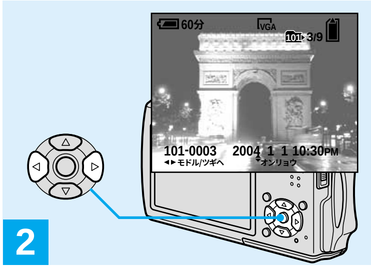


1

➡ **モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる**

選択されている記録フォルダ（**別冊応用編** ➡ 6ページ）の最新の画像が表示されます。

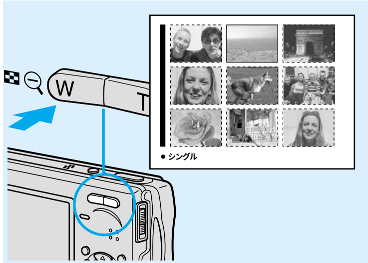
- 表示直後は、画像処理のために粗い画像が出ることがあります。



➡ コントロールボタンの◄/►で静止画を選ぶ

◄：前の画像が表示されます。
►：次の画像が表示されます。

インデックス（9枚／16枚表示）画面で見る

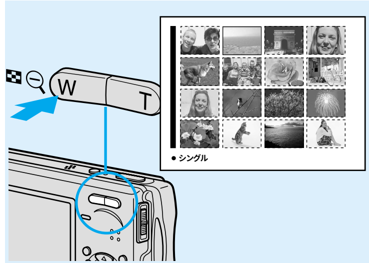


➡ （インデックス）ボタンを1回押す

インデックス（9枚表示）画面に切り換わります。

次（前）のインデックス画面を表示するには

コントロールボタンの▲/▼/◄/►を押して、黄色い枠を上下左右に動かしてください。



➡ （インデックス）ボタンをもう1回押す

インデックス（16枚表示）画面に切り換わります。

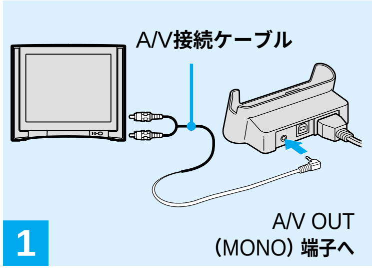
次（前）のインデックス画面を表示するには

コントロールボタンの▲/▼/◄/►を押して、黄色い枠を上下左右に動かしてください。

シングル画面に戻るには

（インデックス）ボタンのT側を繰り返し押すか、コントロールボタンの中央の●を押してください。

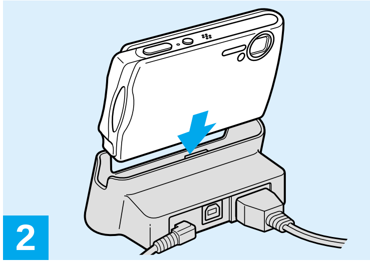
テレビで見る



→ **A/V接続ケーブル（付属）でUSBクレードル（付属）のA/V OUT（MONO）端子と、テレビの映像 ／音声入力端子を接続する**

テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声プラグ（黒）を左音声端子に接続してください。

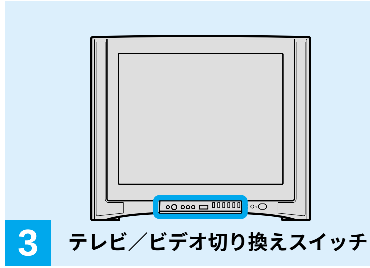
- USBケーブルが接続されている場合は、取り外してください。
- 本機とテレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつないでください。



→ **本機をUSBクレードルに取り付ける**

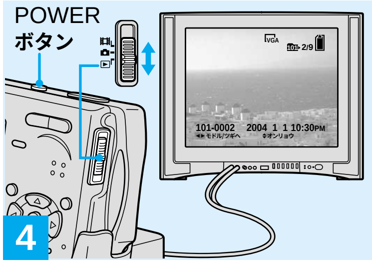
図の向きに取り付けてください。

- 本機を奥まで確実に入れてください。



→ **テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする**

- お使いのテレビによって、スイッチの名称や位置は異なります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

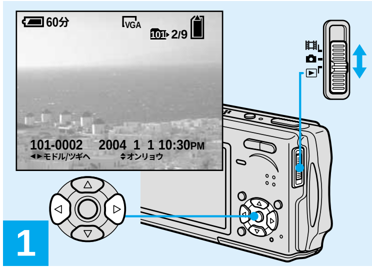


➡ モードスイッチを「▶」にして、本機の電源を入れる

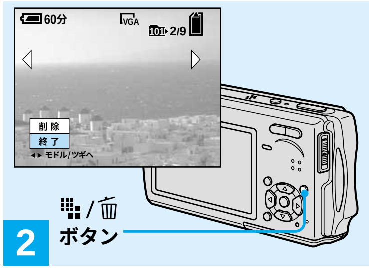
コントロールボタンの◀/▶で画像を選んでください。

- 海外でお使いのときはビデオ信号出力の切り換えが必要な場合もあります（**別冊応用編** ➡ 81ページ）。

静止画を削除する

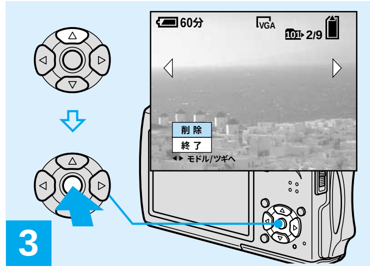


➡ モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる。
コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を表示する



➡ /🗑（削除）ボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。



➡ コントロールボタンの▲で［削除］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」という表示が出て、画像が削除されます。

続けて他の画像も削除するには

コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を表示します。次に▲で［削除］を選び、中央の●を押してください。

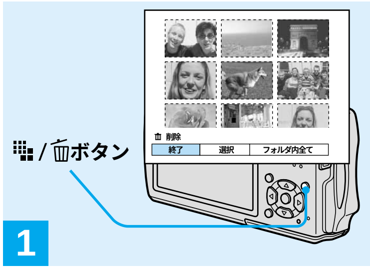
削除を中止するには

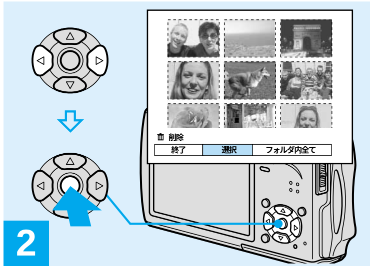
コントロールボタンの▼で［終了］を選び、中央の●を押してください。

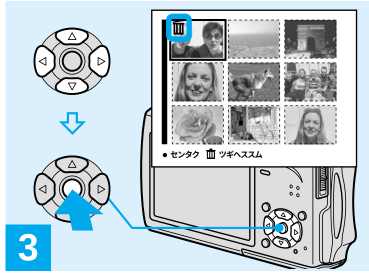
• 1度削除した画像は元にもどせないのでご注意ください。

• プロテクトされている画像（**別冊応用編** ➡ 28ページ）は削除できません。

インデックス（9枚／16枚表示）画面で削除する







➡ インデックス（9枚／16枚表示）画面（34ページ）で、▦/🗑（削除）ボタンを押す

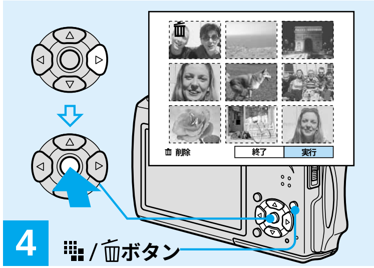
➡ コントロールボタンの◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す

➡ 削除したい画像をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す

選んだ画像に🗑（削除）マークが付きます。この時点ではまだ削除されていません。削除したいすべての画像に🗑マークを付けてください。

- 1度削除した画像は元にもどせないのでご注意ください。

- 選択を取り消すには、もう1度取り消したい画像を選んで、中央の●を押してください。🗑マークが消えます。



→ /（削除）ボタンを押し、コントロールボタンの▶で［実行］を選び、中央の●を押す

「アクセス中」という表示が出て、マークを付けた画像が削除されます。

削除を中止するには

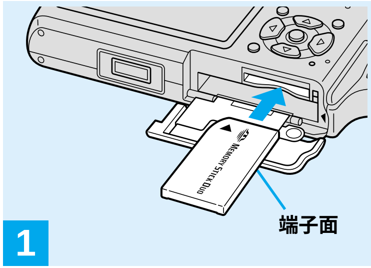
コントロールボタンの◀で［終了］を選び、中央の●を押してください。

フォルダ内のすべての画像を削除するには

手順**2**で、コントロールボタンの▶で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押してください。次に［実行］を選び、中央の●を押してください。プロテクトされていないすべての画像が削除されます。
削除を中止するときは［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

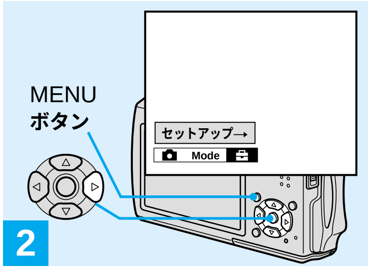
静止画を削除する

“メモリースティック　デュオ”をフォーマットする



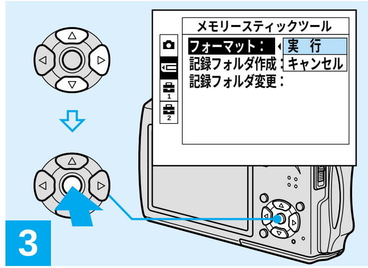
➡ フォーマットしたい“メモリースティック　デュオ”を入れる

- 「フォーマット」とは、“メモリースティック　デュオ”に画像を記録できるようにする作業のことで、「初期化」とも言います。本機に付属、または市販の“メモリースティック　デュオ”はすでにフォーマットされており、すぐにお使いになれます。
- **フォーマットすると、プロテクトした画像を含め、“メモリースティック　デュオ”内のすべてのデータが消去され、元にもどせないので、ご注意ください。**
- フォーマットはモードスイッチがどの位置でも操作できます。



➡ 電源を入れ、MENUボタンを押す。コントロールボタンの▶でメニューの🧰の位置に進み、もう1度▶を押す

セットアップ画面が表示されます。

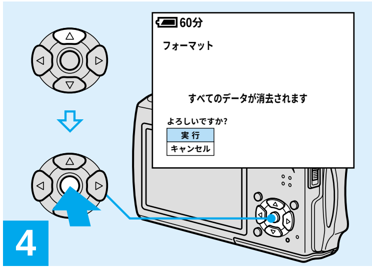


➡ コントロールボタンの▲/▼で［▭］（メモリースティックツール）を選ぶ。▶で［フォーマット］を選ぶ。▶を押して▲で［実行］を選び、中央の●を押す

フォーマットを中止するには

コントロールボタンの▼で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

- フォーマットの途中で電源が切れないようにするために、ACアダプターのご使用をおすすめします。



4

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す

「フォーマット中」という表示が消えると、フォーマットが完了します。

静止画をパソコンに取り込むまで

Windows XPは手順❷から始めます

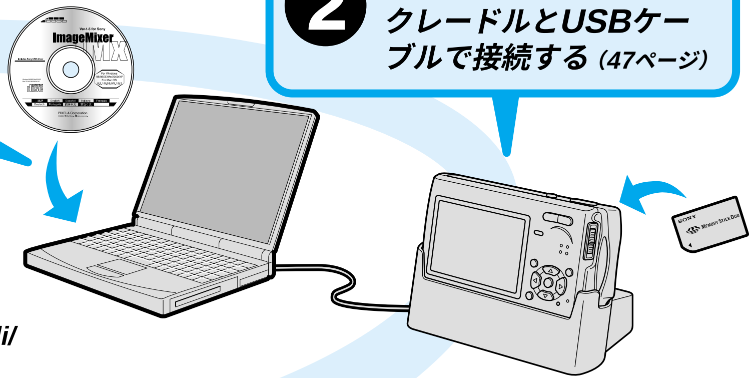
❶ *Windows 98/98SE/2000/Meのみ*

USBドライバをインストールする（44ページ）

2回目以降、画像を取り込むときは不要です。

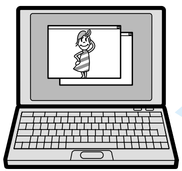
パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/support-di/



❷ ***本機とパソコンをUSBクレードルとUSBケーブルで接続する***（47ページ）

❸ ***画像ファイルをパソコンにコピーする***（49、52ページ）



❹ ***パソコンで画像を見る***（55ページ）

• Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X（v10.0/v10.1/v10.2）は59～60ページをご覧ください。

パソコンの推奨使用環境

■ Windowsパソコン環境

OS: Microsoft Windows 98/
Windows 98SE/
Windows 2000 Professional/
Windows Millennium Edition/
Windows XP Home Edition/
Windows XP Professional
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ: 800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65000色）以上

- 本機はUSB2.0に対応しています。
- Hi-Speed USB（USB2.0 High Speed対応）対応のパソコン環境でご使用いただくと、従来より高速なデータ転送が可能になります。

■ Macintosh環境

OS: Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)
工場出荷時にインストールされていることが必要です。

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ: 800×600ドット以上、32000色モード以上

- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

USBモードについて

パソコンと接続するときのUSBモードには［標準］と［PTP］*の2通りの接続方法があり、お買い上げ時は［標準］に設定されています。
ここでは主に［標準］での使いかたを説明します。

* Windows XP、Mac OS Xに対応。パソコン接続時に、本機に設定されている記録フォルダ内のデータのみをパソコンにコピーします。フォルダを選択するには**別冊応用編** ➡ 22ページの手順を行ってください。

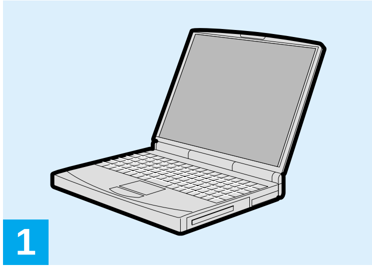
パソコンとの通信について

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

USB端子がないパソコンをお使いの場合は

USB端子も“メモリースティック”スロットもないパソコンをお使いの場合は、アクセサリーを使うことにより画像を取り込めます。詳しくは、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-di/

❶ USBドライバをインストールする 98 2000 98SE Me

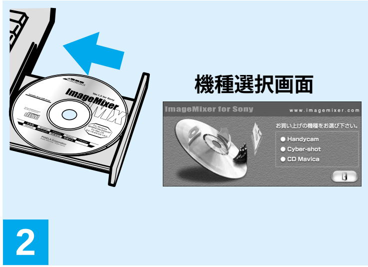


1

→ **パソコンの電源を入れる**

この時点では、本機をパソコンに接続しないでください。

- OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。
- **パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。**
- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。

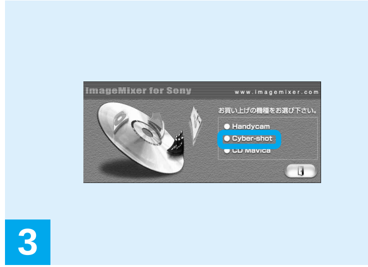


2

→ **CD-ROM（付属）を、パソコンのCD-ROMドライブにセットする**

機種選択画面が表示されます。
機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイ コンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

- ディスプレイの設定を800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65000色）以上にしてください。
800×600ドット未満、256色以下ではインストールの機種選択画面が表示されません。



3

→ **「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする**

インストールメニュー画面が表示されます。



4

➡「USB Driver」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

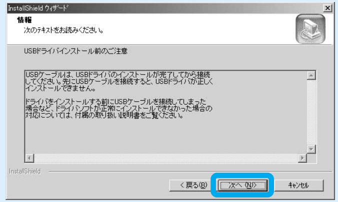
「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。



5

➡［次へ］をクリックする

「情報」画面が表示されます。



6

➡［次へ］をクリックする

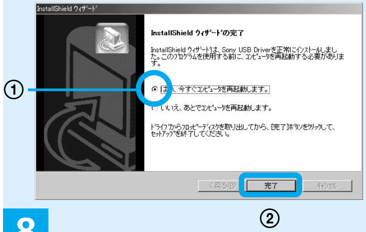
USBドライバのインストールが始まります。

❶ USBドライバをインストールする（つづき）



7

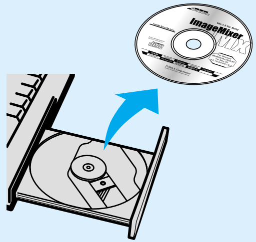
➡ インストールが終了すると「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示される



8

➡ ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］の◯をクリックして⊙にし、［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。

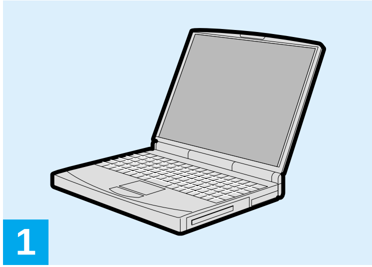


9

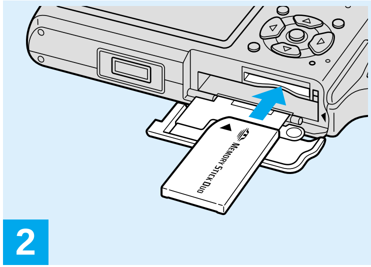
➡ 再起動後に、パソコンからCD-ROMを取り出す

本機とパソコンでUSB接続ができるようになります。

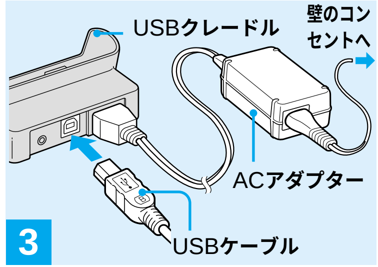
❷ 本機とパソコンをUSBクレードルとUSBケーブルで接続する 98 2000 XP 98SE Me



➡ パソコンの電源を入れる



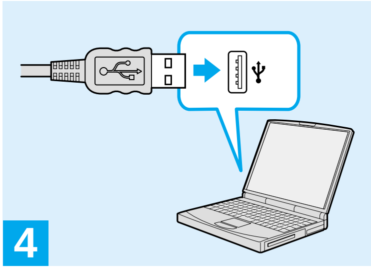
➡ 本機に画像を記録した“メモリースティック　デュオ”を入れる



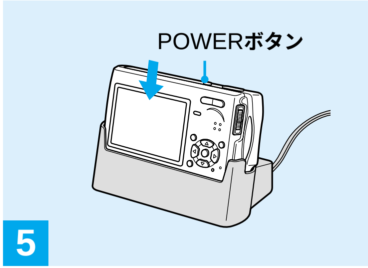
➡ USBクレードル（付属）とACアダプター（付属）をつなぎ、壁のコンセントにつなぐ。USBケーブルをUSBクレードルの⇆(USB) 端子につなぐ

• バッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損する恐れがあります。また、USBケーブルからは電源供給されないので、ACアダプターのご使用をおすすめします。

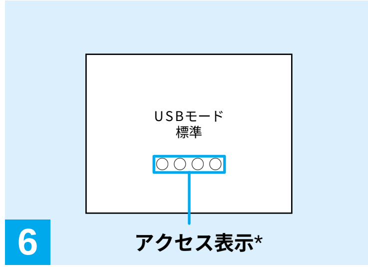
❷ 本機とパソコンをUSBクレードルとUSBケーブルで接続する（つづき）



→ **USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ**



→ **本機をUSBクレードルに取り付けてから、電源を入れる**



本機の液晶画面に「USBモード 標準」と表示されます。
初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

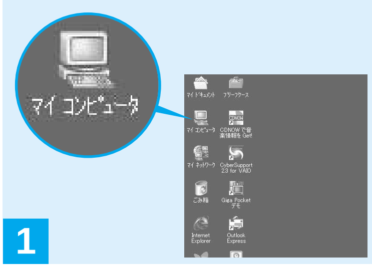
* 通信中はアクセス表示が赤色になります。

- デスクトップ型パソコンをお使いの場合は、パソコン後面のUSB端子をご使用ください。
- Windows XPをお使いの場合は、パソコンの画面に自動再生ウィザードが表示されます。52ページにお進みください。

- 本機を奥まで確実に入れてください。

- 「USBモード 標準」と表示されないときは、セットアップ画面の［USB接続］が［標準］になっているか確認してください（**別冊応用編** → 81ページ）。
- **USB接続中は、本機をUSBクレードルから取りはずさないでください。画像データが壊れることがあります。USB接続を終了するときは54ページの!をご覧ください。**

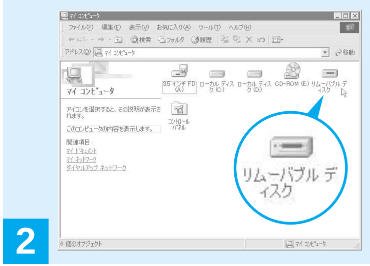
❸ 画像ファイルをパソコンにコピーする 98 98SE 2000 Me （XP 52〜54ページ）



1

➡ ［マイ コンピュータ］をダブルクリックする

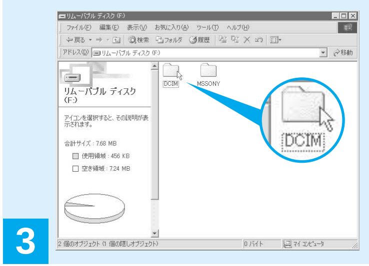
「マイ コンピュータ」画面が表示されます。



2

➡ ［リムーバブル ディスク］をダブルクリックする

本機内の“ メモリースティック　デュオ ”の内容が表示されます。



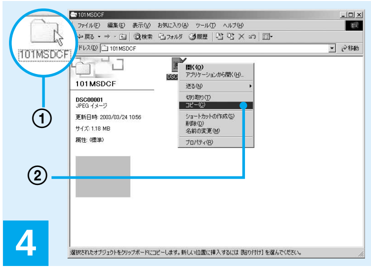
3

➡ ［DCIM］をダブルクリックする

新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダのみ表示されます。

- ここでは、「マイドキュメント」というフォルダに画像をコピーします。

- リムーバブル ディスクが表示されていないときは、51ページをご覧ください。



➡ 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックする。画像ファイルを右クリックしてメニューを表示し、［コピー］を選ぶ



➡ ［マイドキュメント］フォルダをダブルクリックする。右クリックでメニューを表示し、［貼り付け］を選ぶ

「マイドキュメント」フォルダに画像ファイルがコピーされます。

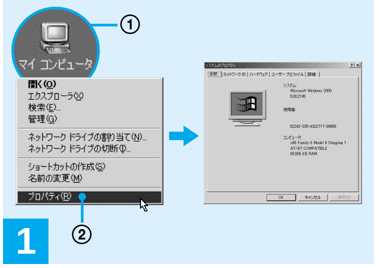
コピー先に同じファイル名の画像があるときは

元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルデータは消えます。

ファイル名を変更する場合

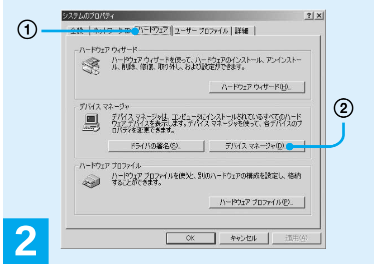
画像ファイルを上書きしないでパソコンにコピーする場合は、ファイル名を希望の名称に変更します。ファイル名を変更すると本機で再生できなくなる場合があります。本機で再生する場合は、58ページの操作を行ってください。

「リムーバブル ディスク」が表示されないときは



→ [マイ コンピュータ] を右クリックしてメニューを表示し、[プロパティ] をクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

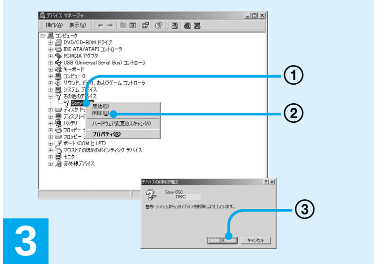


→ [デバイス マネージャ] を表示する

① [ハードウェア] をクリックする。

② [デバイス マネージャ] をクリックする。

• Windows 98、98SE、Meをお使いの場合、①は不要です。[デバイス マネージャ] タブをクリックしてください。



→ 「Sony DSC」が表示されていたら削除する

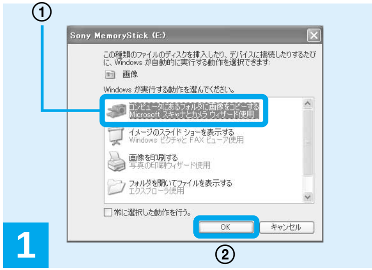
① 「Sony DSC」を右クリックする。

② [削除] をクリックする。
「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

③ [OK] をクリックする。
デバイスが削除されます。

デバイスを削除したあと、CD-ROM（付属）のUSBドライバをインストールし直してください（44ページ）。

❸ 画像ファイルをパソコンにコピーする XP



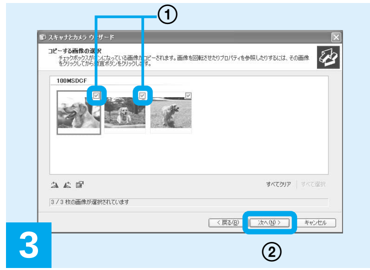
➡ 47ページの手順でUSB接続を行うと、自動再生ウィザードが起動する。
［コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用］をクリックし、［OK］をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの開始」画面が表示されます。



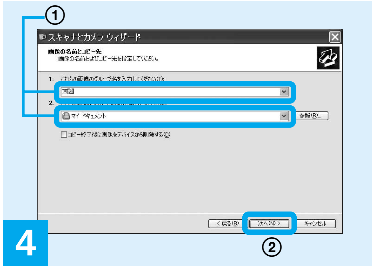
➡ ［次へ］をクリックする

本機の“メモリースティック　デュオ”に記録されている画像が表示されます。



➡ パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして □ にし、［次へ］をクリックする

「画像の名前とコピー先」画面が表示されます。



4

➡ 画像の名前とコピー先を指定し、［次へ］をクリックする

画像のコピーが始まります。コピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示されます。

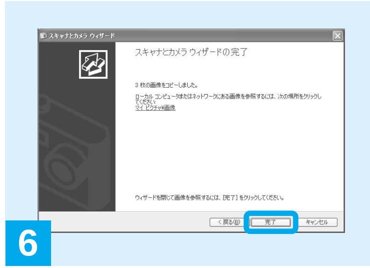
- ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。



5

➡［作業を終了する］を選び、［次へ］をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの完了」画面が表示されます。



6

➡［完了］をクリックする

ウィザード画面が閉じます。

- 続けて画像をコピーしたい場合は、54ページの❗の手順に従ってUSBケーブルを1度抜き差しして、手順1から行ってください。

USBケーブルを抜く、“メモリースティック　デュオ”を取り出す、または本機の電源を切るときは

Windows 2000/Me/XPをお使いの場合は

1 タスクトレイの をダブルクリックする。



ここをダブルクリック

2 （Sony DSC）をクリックし、［停止］をクリックする。

3 取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする。

4 ［OK］をクリックする。
Windows XPをお使いの方は、手順**4**は不要です。

5 USBケーブルを抜く、“メモリースティック　デュオ”を取り出す、または本機の電源を切る。

Windows 98/98SEをお使いの場合は

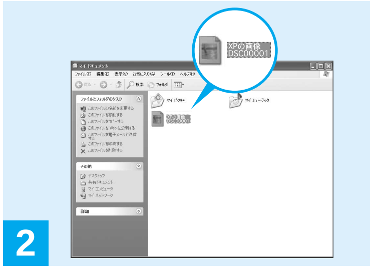
アクセス表示（48ページ）が白くなっていることを確認して、手順**5**のみ行ってください。

❹ パソコンで画像を見る 98 2000 XP 98SE Me



➡ ［スタート］→［マイドキュメント］をクリックする

「マイドキュメント」フォルダの内容が表示されます。



➡ 見たい画像ファイルをダブルクリックする

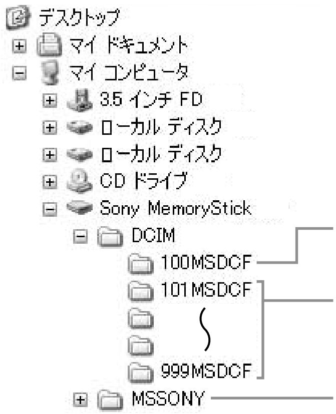
画像が開きます。

- 49、52ページで、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーした場合の説明です。
- Windows XP以外をお使いの場合は、デスクトップ画面上の［マイドキュメント］をダブルクリックしてください。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、“ メモリースティック　デュオ ”内のフォルダにまとめられています。

Windows XPで見たときの例



フォルダ作成機能がないカメラで撮影した画像ファイルのフォルダ

本機で撮影した画像ファイルのフォルダ。
新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」のみです。

フォルダ作成機能がないカメラで撮影したEメールモードの画像データ／動画データ／ボイスメモの音声データのフォルダ

- 「100MSDCF」または「MSSONY」のフォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。
- フォルダについては、**別冊応用編** ➡ 6ページをご覧ください。

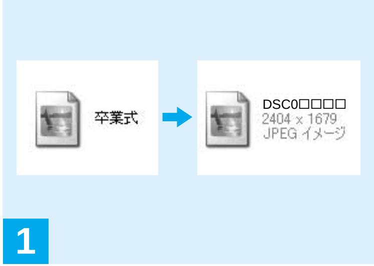
フォルダ名	ファイル名	ファイルの内容
101MSDCF ～ 999MSDCF	DSC0□□□□.JPG	• 以下のモードで撮影した静止画ファイル －通常撮影モード －ブラケットモード（**別冊応用編** → 15ページ） －連写モード（**別冊応用編** → 18ページ） －マルチ連写モード（**別冊応用編** → 18ページ） • 以下のモードで同時に撮影した静止画ファイル －Eメールモード（**別冊応用編** → 19ページ） －ボイスメモモード（**別冊応用編** → 20ページ）
	DSC0□□□□.JPE	• Eメールモードで撮影した、通常よりサイズの小さい画像ファイル（**別冊応用編** → 19ページ）
	DSC0□□□□.MPG	• ボイスメモモードで撮影した音声つきファイル（**別冊応用編** → 20ページ）
	MOV0□□□□.MPG	• 動画ファイル（**別冊応用編** → 39ページ）
	MOV0□□□□.THM	• 動画を撮影したとき同時に撮影されるインデックス画像ファイル（**別冊応用編** → 39ページ）

- □□□□には0001から9999までの数字が入ります。
- 下記のファイルの数字部分は同じになります。
  – Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイルとその画像ファイル
  – ボイスメモモードで撮影した音声ファイルとその画像ファイル
  – 動画モードで撮影した動画ファイルとそのインデックス画像ファイル

パソコンにコピーした画像ファイルを本機で見るには

パソコンにコピーした画像ファイルが“メモリースティック　デュオ”内に残っていない場合、本機でもう1度その画像を見るには、パソコンにある画像ファイルを“メモリースティック　デュオ”にコピーしてから本機で再生します。

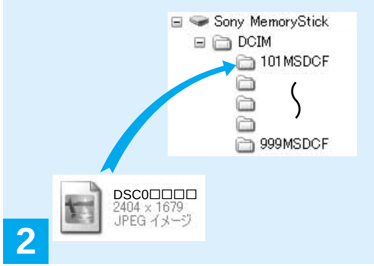
- 本機設定のファイル名を変更していない場合は、手順1は必要ありません。
- 画像サイズによっては再生できない画像があります。
- パソコンで画像を加工したファイルや本機以外のモデルで撮影した画像は、本機での再生を保証しません。



→ 画像ファイルを右クリックし、「名前の変更」をクリックする。ファイル名を「DSC0□□□□」に変更する

□□□□には、0001から9999までの数字を入れます。

- パソコンの設定によっては、拡張子が表示されます。静止画の拡張子はJPG、動画の拡張子はMPGです。拡張子は変更しないでください。



→ ファイルを“メモリースティック　デュオ”内のフォルダにコピーする

① 画像ファイルを右クリックし、［コピー］をクリックする。
② ［マイコンピュータ］内の［リムーバブルディスク］または［Sony MemoryStick］から［DCIM］フォルダを選ぶ。
③ フォルダ内の［□□□MSDCF］フォルダを右クリックし、［貼り付け］をクリックする。□□□には、100から999までの数字が入ります。

- 上書きの警告が出た場合は、手順1で別の数字を入れ直してください。
- フォルダがない場合は、まず本機でフォルダを作成してから画像ファイルのコピーを行ってください（**別冊応用編** → 6ページ）。

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)でご使用になれます。

❶本機とパソコンをUSBクレードルとUSBケーブルで接続する

詳しくは、47ページをご覧ください。

USBケーブルを抜く、“メモリースティック　デュオ”を取り出す、または本機の電源を切るときは

“メモリースティック”またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてから、USBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

- Mac OS X v10.0をお使いの場合は、パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

❷画像ファイルをパソコンにコピーする

1 デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。
本機内の“メモリースティック　デュオ”の内容が表示されます。

2 ［DCIM］をダブルクリックする。

3 取り込みたい画像の入ったフォルダをダブルクリックする。

4 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされます。

- 画像ファイルの保存先とファイル名について詳しくは、56、57ページをご覧ください。

❸パソコンで画像を見る

1 ハードディスクアイコンをダブルクリックする。

2 画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックする。
画像が開きます。

Mac OS Xをお使いの方へ

Eメールモードの画像ファイルをクリックした際、「書類“ DSC0□□□□.JPE ”を開くことができるアプリケーションがありません」という画面が出たときは、以下の設定を行ってください。
バージョンによって、画面表示が異なることがあります。

1 「書類“ DSC0□□□□.JPE ”を開くことができるアプリケーションがありません」画面の［アプリケーション選択］ボタンをクリックする。

2 「表示」を［推奨アプリケーション］から［全アプリケーション］に変更する。

3 アプリケーションが一覧表示されている部分から、［QuickTime Player］を選択し、［開く］ボタンをクリックする。

索引

数字の前に「応」がついているページは別冊応用編のページです。

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット

索引

デジタルイメージングカスタマーご登録

電話のおかけ間違いにご注意ください。

お客様へのサポートをより充実させていくため、「カスタマーご登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「デジタルイメージングカスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ **カスタマーご登録およびご登録内容の変更：**
http://www.sony.co.jp/di-regi/
お問い合わせ：**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**
電話：0466-38-1410
受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

パソコンとの接続方法や最新サポート情報

デジタルイメージングカスタマーサポート
http://www.sony.co.jp/support-di/

ご使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター
電話：　0564-62-4979
（電話のおかけ間違いにご注意ください。）
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の前に以下の内容をご用意ください。
① お客様のID
（カスタマーご登録していただくとIDが発行されます。）
② 本機の型名（本機底面をご覧ください。）
③ 本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

修理申し込み

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合左記のテクニカルインフォメーションセンターへお電話ください。
お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいします。

2050819020

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。